

十市監委第65号

平成25年10月9日

切田財産区管理者

十和田市長 小山田 久 様

十和田市監査委員 高野 洋 三

十和田市監査委員 豊川 泰 市

平成24年度切田財産区特別会計歳入歳出

決算審査意見の提出について

地方自治法第233条第2項の規定に基づき審査に付された平成24年度切田財産区特別会計歳入歳出決算を審査した結果、別紙のとおり意見を提出します。

# 平成24年度切田財産区特別会計 歳入歳出決算審査意見

## 1 審査の概要

### (1) 審査の対象

平成24年度切田財産区特別会計歳入歳出決算

### (2) 審査の期間

平成25年8月15日から平成25年10月9日まで

### (3) 審査の方法

この審査に当たっては、歳入歳出決算書、実質収支に関する調書、決算事項別明細書、財産に関する調書について、関係法令に準拠して作成されているか、計数に誤りはないか、予算が適正かつ効率的に執行されているか、財産の管理は適正であるか等に重点をおき実施した。

## 2 審査の結果

審査に付された決算書等は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。また、予算の執行状況についても適正と認められた。

### (1) 決算収支の状況

当年度の決算額は、予算現額 25,726,000円に対し、歳入 40,423,513円、歳出 20,230,562円で、歳入歳出差引額は 20,192,951円となり、翌年度へ繰り越すべき財源がないことから、その額が実質収支額となっている。

最近2か年の決算収支状況は、次表のとおりである。

## 決 算 収 支 状 況

区 分	平成 24 年 度	平成 23 年 度
	円	円
歳 入 総 額 ①	40,423,513	30,520,109
歳 出 総 額 ②	20,230,562	28,094,553
歳入歳出差引額 ①－② ③	20,192,951	2,425,556
翌年度へ繰り越すべき財源 ④	0	0
実 質 収 支 額 ③－④ ⑤	20,192,951	2,425,556

### (2) 歳 入

当年度の収入済額は、40,423,513円で、調定額と同額であり、前年度に比べて9,903,404円(32.4%)の増加となっている。

収入済額の内訳は、使用料 2,610円、県補助金 6,383,347円、財産運用収入 111,236円、財産売払収入 12,075,000円、基金繰入金 9,885,000円、前年度繰越金 1,205,556円、諸収入の森林総合研究所分収造林受託事業収入 669,900円、森林総合研究所分収造林地造林木売買分収金 10,088,638円など雑入が10,090,864円となっている。

### (3) 歳 出

当年度の支出済額は、20,230,562円で、予算現額に対する執行率は 78.6%となり、前年度に比べて 7,863,991円(28.0%)の減少となっている。

支出済額の内訳は、議会費 2,289,152円、総務管理費 17,941,410円となっている。

総務管理費の内訳は、財産管理費 811,900円、森林総合整備事業費 15,826,100円、森林総合研究所分収造林費 636,174円、諸費の負担金、補助及び交付金 536,000円、積立金 131,236円となっている。

### (4) その他

当年度末(平成25年3月31日)現在の財政調整基金は、1,241,675円となっている。

事業については、造林事業として保育間伐や除伐を大畑地区などで実施している。

十市監委第65号

平成25年10月9日

深持財産区管理者

十和田市長 小山田 久 様

十和田市監査委員 高野 洋 三

十和田市監査委員 豊川 泰 市

平成24年度深持財産区特別会計歳入歳出

決算審査意見の提出について

地方自治法第233条第2項の規定に基づき審査に付された平成24年度深持財産区特別会計歳入歳出決算を審査した結果、別紙のとおり意見を提出します。

# 平成24年度深持財産区特別会計 歳入歳出決算審査意見

## 1 審査の概要

### (1) 審査の対象

平成24年度深持財産区特別会計歳入歳出決算

### (2) 審査の期間

平成25年8月15日から平成25年10月9日まで

### (3) 審査の方法

この審査に当たっては、歳入歳出決算書、実質収支に関する調書、決算事項別明細書、財産に関する調書について、関係法令に準拠して作成されているか、計数に誤りはないか、予算が適正かつ効率的に執行されているか、財産の管理は適正であるか等に重点をおき実施した。

## 2 審査の結果

審査に付された決算書等は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。また、予算の執行状況についても適正と認められた。

### (1) 決算収支の状況

当年度の決算額は、予算現額 11,032,000円に対し、歳入 10,990,407円、歳出 9,707,948円で、歳入歳出差引額は 1,282,459円となり、翌年度へ繰り越すべき財源がないことから、その額が実質収支額となっている。

最近2か年の決算収支状況は、次表のとおりである。

## 決 算 収 支 状 況

区 分	平成 24 年度	平成 23 年度
	円	円
歳 入 総 額 ①	10,990,407	21,571,535
歳 出 総 額 ②	9,707,948	20,474,135
歳入歳出差引額 ①－② ③	1,282,459	1,097,400
翌年度へ繰り越すべき財源 ④	0	0
実 質 収 支 額 ③－④ ⑤	1,282,459	1,097,400

### (2) 歳 入

当年度の収入済額は、10,990,407円で、調定額 11,090,407円に対する収入率は 99.1%となり、前年度に比べ 10,581,128円(49.1%)の減少となっている。

収入済額の内訳は、使用料 354,270円、県補助金 1,143,463円、財産運用収入 61,006円、財産売払収入 2,635,500円、基金繰入金 5,936,000円、前年度繰越金 547,400円、諸収入の森林総合研究所分収造林受託事業収入 229,950円、1日奉仕作業保険金 81,700円など雑入が 82,818円となっている。

### (3) 歳 出

当年度の支出済額は、9,707,948円で、予算現額に対する執行率は 88.0%となり、前年度に比べて 10,766,187円(52.6%)の減少となっている。

支出済額の内訳は、議会費 1,806,471円、総務管理費 7,901,477円となっている。

総務管理費の内訳は、財産管理費 1,273,177円、森林総合整備事業費 1,520,888円、森林総合研究所分収造林費 226,465円、林道維持費 375,883円、諸費の負担金、補助及び交付金 722,000円、積立金 3,449,914円、選挙費繰出金 333,150円となっている。

### (4) その他

当年度末(平成25年3月31日)現在の財政調整基金は、50,973,671円となっている。

事業としては、森林総合整備事業の造林事業として除伐を実施している。

十市監委第65号

平成25年10月9日

大深内財産区管理者

十和田市長 小山田 久 様

十和田市監査委員 高野 洋 三

十和田市監査委員 豊川 泰 市

平成24年度大深内財産区特別会計歳入歳出

決算審査意見の提出について

地方自治法第233条第2項の規定に基づき審査に付された平成24年度大深内財産区特別会計歳入歳出決算を審査した結果、別紙のとおり意見を提出します。

# 平成24年度大深内財産区特別会計 歳入歳出決算審査意見

## 1 審査の概要

### (1) 審査の対象

平成24年度大深内財産区特別会計歳入歳出決算

### (2) 審査の期間

平成25年8月15日から平成25年10月9日まで

### (3) 審査の方法

この審査に当たっては、歳入歳出決算書、実質収支に関する調書、決算事項別明細書、財産に関する調書について、関係法令に準拠して作成されているか、計数に誤りはないか、予算が適正かつ効率的に執行されているか、財産の管理は適正であるか等に重点をおき実施した。

## 2 審査の結果

審査に付された決算書等は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。また、予算の執行状況についても適正と認められた。

### (1) 決算収支の状況

当年度の決算額は、予算現額 2,209,000 円に対し、歳入 2,211,467 円、歳出 1,955,865 円で、歳入歳出差引額は 255,602 円となり、翌年度へ繰り越すべき財源がないことから、その額が実質収支額となっている。

最近2か年の決算収支状況は、次表のとおりである。

## 決 算 収 支 状 況

区 分	平成 24 年 度	平成 23 年 度
	円	円
歳 入 総 額 ①	2,211,467	2,542,368
歳 出 総 額 ②	1,955,865	2,236,185
歳入歳出差引額 ①-② ③	255,602	306,183
翌年度へ繰り越すべき財源 ④	0	0
実 質 収 支 額 ③-④ ⑤	255,602	306,183

### (2) 歳 入

当年度の収入済額は、2,211,467円で、調定額と同額であり、前年度に比べて330,901円(13.0%)の減少となっている。

収入済額の内訳は、財産運用収入 106,058円、基金繰入金1,954,000円、前年度繰越金151,183円、歳計現金預金利子の雑入が 226円となっている。

### (3) 歳 出

当年度の支出済額は、1,955,865円で、予算現額に対する執行率は 88.5%となり、前年度に比べて 280,320円(12.5%)の減少となっている。

支出済額の内訳は、議会費 1,532,015円、総務管理費 423,850円となっている。

総務管理費の内訳は、財産管理費 204,634円、諸費の負担金、補助及び交付金 2,000円、積立金 217,216円となっている。

### (4) その他

当年度末(平成25年3月31日)現在の財政調整基金は、11,315,502円となっている。

十市監委第65号

平成25年10月9日

法量財産区管理者

十和田市長 小山田 久 様

十和田市監査委員 高野 洋 三

十和田市監査委員 豊川 泰 市

平成24年度法量財産区特別会計歳入歳出

決算審査意見の提出について

地方自治法第233条第2項の規定に基づき審査に付された平成24年度法量財産区特別会計歳入歳出決算を審査した結果、別紙のとおり意見を提出します。

# 平成24年度法量財産区特別会計 歳入歳出決算審査意見

## 1 審査の概要

### (1) 審査の対象

平成24年度法量財産区特別会計歳入歳出決算

### (2) 審査の期間

平成25年8月15日から平成25年10月9日まで

### (3) 審査の方法

この審査に当たっては、歳入歳出決算書、実質収支に関する調書、決算事項別明細書、財産に関する調書について、関係法令に準拠して作成されているか、計数に誤りはないか、予算が適正かつ効率的に執行されているか、財産の管理は適正であるか等に重点をおき実施した。

## 2 審査の結果

審査に付された決算書等は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。また、予算の執行状況についても適正と認められた。

### (1) 決算収支の状況

当年度の決算額は、予算現額 19,440,000円に対し、歳入 19,471,665円、歳出 18,537,494円で、歳入歳出差引額は 934,171円となり、翌年度へ繰り越すべき財源がないことから、その額が実質収支額となっている。

最近2か年の決算収支状況は、次表のとおりである。

## 決 算 収 支 状 況

区 分	平成 24 年 度	平成 23 年 度
	円	円
歳 入 総 額 ①	19,471,665	27,122,126
歳 出 総 額 ②	18,537,494	25,766,162
歳入歳出差引額 ①－② ③	934,171	1,355,964
翌年度へ繰り越すべき財源 ④	0	0
実 質 収 支 額 ③－④ ⑤	934,171	1,355,964

### (2) 歳 入

当年度の収入済額は、19,471,665円で、調定額と同額であり、前年度に比べて7,650,461円(28.2%)の減少となっている。

収入済額の内訳は、使用料 2,212,510円、県補助金 1,295,224円、財産運用収入 8,804円、基金繰入金 13,513,000円、前年度繰越金 655,964円、諸収入の雑入が造林木販売分収金 664,725円、部分林分収造林分収金 640,000円、立木伐採補償料 331,311円、エコカー購入補助金 100,000円など 1,786,163円となっている。

### (3) 歳 出

当年度の支出済額は、18,537,494円で、予算現額に対する執行率は 95.4%となり、前年度に比べて 7,228,668円(28.1%)の減少となっている。

支出済額の内訳は、議会費 3,900,379円、総務管理費 14,637,115円となっている。

総務管理費の内訳は、財産管理費 887,422円、森林総合整備事業費 3,837,667円、森林総合研究所分収造林費 3,345,604円、林道維持費 25,043円、諸費の負担金、補助及び交付金 2,388,000円、積立金 3,811,804円、選挙費繰出金 341,575円となっている。

### (4) その他

当年度末(平成25年3月31日)現在の財政調整基金は、34,856,006円となっている。

事業としては、造林事業としてスギ 4,700本を新植している。

十市監委第65号

平成25年10月9日

奥瀬財産区管理者

十和田市長 小山田 久 様

十和田市監査委員 高野 洋 三

十和田市監査委員 豊川 泰 市

平成24年度奥瀬財産区特別会計歳入歳出

決算審査意見の提出について

地方自治法第233条第2項の規定に基づき審査に付された平成24年度奥瀬財産区特別会計歳入歳出決算を審査した結果、別紙のとおり意見を提出します。

# 平成24年度奥瀬財産区特別会計 歳入歳出決算審査意見

## 1 審査の概要

### (1) 審査の対象

平成24年度奥瀬財産区特別会計歳入歳出決算

### (2) 審査の期間

平成25年8月15日から平成25年10月9日まで

### (3) 審査の方法

この審査に当たっては、歳入歳出決算書、実質収支に関する調書、決算事項別明細書、財産に関する調書について、関係法令に準拠して作成されているか、計数に誤りはないか、予算が適正かつ効率的に執行されているか、財産の管理は適正であるか等に重点をおき実施した。

## 2 審査の結果

審査に付された決算書等は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。また、予算の執行状況についても適正と認められた。

### (1) 決算収支の状況

当年度の決算額は、予算現額 31,166,000円に対し、歳入 31,307,209円、歳出 29,909,144円で、歳入歳出差引額は 1,398,065円となり、翌年度へ繰り越すべき財源がないことから、その額が実質収支額となっている。

最近2か年の決算収支状況は、次表のとおりである。

## 決 算 収 支 状 況

区 分	平成 24 年度	平成 23 年度
	円	円
歳 入 総 額 ①	31,307,209	31,550,473
歳 出 総 額 ②	29,909,144	29,765,085
歳入歳出差引額 ①－② ③	1,398,065	1,785,388
翌年度へ繰り越すべき財源 ④	0	0
実 質 収 支 額 ③－④ ⑤	1,398,065	1,785,388

### (2) 歳 入

当年度の収入済額は、31,307,209円で、調定額と同額であり、前年度に比べて243,264円(0.8%)の減少となっている。

収入済額の内訳は、使用料 1,241,302円、県補助金 1,462,359円、財産運用収入 11,309円、財産売払収入 5,706,750円、基金繰入金 14,940,000円、前年度繰越金 885,388円、諸収入の森林総合研究所分収造林受託事業収入 4,389,960円、部分林分収造林分収金 2,597,300円など雑入が 2,670,141円となっている。

### (3) 歳 出

当年度の支出済額は、29,909,144円で、予算現額に対する執行率は 96.0%となり、前年度に比べて 144,059円(0.5%)の増加となっている。

支出済額の内訳は、議会費 5,461,985円、総務管理費 24,447,159円となっている。

総務管理費の内訳は、財産管理費 990,640円、森林総合整備事業費 3,631,613円、森林総合研究所分収造林費 6,016,530円、諸費の負担金、補助及び交付金 1,720,000円、積立金 11,744,309円、選挙費繰出金 344,067円となっている。

### (4) その他

当年度末(平成25年3月31日)現在の財政調整基金は、55,823,284円となっている。

事業としては、造林事業で除伐等を実施した。

十市監委第65号

平成25年10月9日

沢田財産区管理者

十和田市長 小山田 久 様

十和田市監査委員 高野 洋 三

十和田市監査委員 豊川 泰 市

平成24年度沢田財産区特別会計歳入歳出

決算審査意見の提出について

地方自治法第233条第2項の規定に基づき審査に付された平成24年度沢田財産区特別会計歳入歳出決算を審査した結果、別紙のとおり意見を提出します。

# 平成24年度沢田財産区特別会計 歳入歳出決算審査意見

## 1 審査の概要

### (1) 審査の対象

平成24年度沢田財産区特別会計歳入歳出決算

### (2) 審査の期間

平成25年8月15日から平成25年10月9日まで

### (3) 審査の方法

この審査に当たっては、歳入歳出決算書、実質収支に関する調書、決算事項別明細書、財産に関する調書について、関係法令に準拠して作成されているか、計数に誤りはないか、予算が適正かつ効率的に執行されているか、財産の管理は適正であるか等に重点をおき実施した。

## 2 審査の結果

審査に付された決算書等は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。また、予算の執行状況についても適正と認められた。

### (1) 決算収支の状況

当年度の決算額は、予算現額 7,468,000円に対し、歳入 7,467,140円、歳出 6,879,036円で、歳入歳出差引額は 588,104円となり、翌年度へ繰り越すべき財源がないことから、その額が実質収支額となっている。

最近2か年の決算収支状況は、次表のとおりである。

## 決 算 収 支 状 況

区 分	平成 24 年 度	平成 23 年 度
	円	円
歳 入 総 額 ①	7,467,140	6,099,591
歳 出 総 額 ②	6,879,036	4,831,856
歳入歳出差引額 ①-② ③	588,104	1,267,735
翌年度へ繰り越すべき財源 ④	0	0
実 質 収 支 額 ③-④ ⑤	588,104	1,267,735

### (2) 歳 入

当年度の収入済額は、7,467,140円で、調定額と同額であり、前年度に比べて1,367,549円(22.4%)の増加となっている。

収入済額の内訳は、使用料 8,700円、財産運用収入 460円、財産売払収入3,181,500円、基金繰入金 3,658,000円、前年度繰越金 617,735円、雑入が歳計現金預金利子の745円となっている。

### (3) 歳 出

当年度の支出済額は、6,879,036円で、予算現額に対する執行率は 92.1%となり、前年度に比べて 2,047,180円(42.4%)の増加となっている。

支出済額の内訳は、議会費 1,764,247円、総務管理費 5,114,789円となっている。

総務管理費の内訳は、財産管理費 251,002円、森林総合整備事業費 454,309円、林道維持費 126,700円、諸費の負担金、補助及び交付金 92,000円、積立金 3,851,460円、選挙費繰出金 339,318円となっている。

### (4) その他

当年度末(平成25年3月31日)現在の財政調整基金は、5,522,953円となっている。